

県下の交通事故

(平成12年11月20日現在)

区分	発件数	死者	傷者
平成11年	5,791件	73人	7,698人
平成12年	6,522件	67人	8,604人
比較	+731件	-6人	+906人



◇第135号◇
 発行所
 〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
 財団法人 山梨県交通安全協会
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL(055)-232-4682
甲府交通安全協会

無事故・無違反で笑顔の師走

年末の交通事故防止県民運動が十二月一日から十二月三十一日まで展開されます。例年年末は、交通が混雑し、また、あわただしさも加わり、飲酒の機会も多くなり交通事故の多発が懸念されます。県民運動では、交通安全は家庭から地域から、を

合言葉に、広く県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を促します。同時に交通事故防止の徹底を図ります。忙しい年末を無事故・無違反で乗り切りましょう。

12月31日まで交通事故防止県民運動



交通安全を呼び掛ける冬季長野五輪の銅メダリスト・岡崎朋美さん

- ### 運動の重点
1. 飲酒運転の絶滅
 2. 高齢者の交通事故防止
 3. チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底
 4. 若者による無謀運転及び暴走族の追放

ルールを守り、マナーを実践

まず、本年における交通事故の発生状況と運動の重点に示された四つの交通安全の発生状況について説明します。

県内の交通事故による死者は、十一月二十日現在六十七人で昨年と比較して六人減少していますが、発生件数・傷者については大幅に増加しております。憂慮すべき状況であるといえます。

飲酒運転事故は二百五十七件発生しており、内十二人が亡くなっています。これは、全死者数の

高齢者の死亡事故は、年々増加しており、全死亡事故の二六・九%を占めています。高齢者は、年々増えることにより、身体機能に変化が生じてきます。自らの身体機能や運転

JAF（日本自動車連盟）によるシートベルト着用の全国調査により、本年連続で最下位という残念な結果でした。シートベルトとチャイルドシートの着用効果と必要性を認識してください。自ら正しく着用するとともに、前後同乗者にも正しい着用を促していきましょう。

最近、若者の無謀運転



安全のために

最近、新聞の投書欄等に山梨県のドライバーのマナーの悪さが度々掲載されています。観光客だけでなく、山梨に永住しようとしている投書者からの意見は、特に深刻です。

私自身も運転中「ヒヤリ」とした体験が数多くあります。交差点で黄色信号になったので減速したところ、猛スピードで追い越して交差点を突っ切っていく山梨県ナンバーの車両。やはり交差点で右折しようとして停止中、右折の矢

シートベルトの重要性

山梨県警察本部 交通指導課長 小林 蔚



「八十三名」の内、シートベルト着用対象者は「四十二名」でした。しかし、事故時にシートベルトを着用していたのは、わずか「十名」というの

「シートベルトをもし着用していたら助かったらうに」との報告を受けました。

先日「山梨県中学生交通安全全県大会」で、中学生の皆さんの貴重な弁論を拝聴する機会を得ました。子供たちの輝く真剣な眼差し、事故防止を切々と主張するその論旨、貴重な体験談……。この時、私は警察官として、一人の大人として、二十一世紀を担う子供たちのために、交通惨禍のない明るい生活環境を構築すべき、責任を痛感しました。

JAF（日本自動車連盟）が例年行っている都道府県別のシートベルト着用率についての調査によると、本県の着用率は、六四・八%と全国平均の八二・五%を大きく下回り、昨年引き続き全国ワースト・ワンという不名誉な記録でした。

自動車運転者にはシートベルトの着用が法律（道路交通法第71条の3「自動車の運転者の遵守事項」）で定められて久しいのですが、今年もまた三分の一を超える運転者がシートベルトを着用しないまま自動車を運転していたのです。

シートベルト着用の効果を測定した一つのデータ（県警察）を紹介しましょう。平成十一年中、シートベルト着用が義務付けられている自動車を運転中に交通事故で死亡した四十二人中、シートベルトの非着用者は三十二人で、この内十五人はシートベルトを着用していれば助かったという調査結果でした。

つまり、シートベルト救命率は四六・九%で、ほぼ半数の人がシートベルトを着用していないために尊い命を損なったこととなります。

シートベルトを着用していない運転者は、「すぐ近くへ行くのだから」などいろいろな理由を挙げていますが、労力も費用も費やすことなく、しかも安全なシートベルトの着用こそ安全運転の第一歩ではないでしょうか。

取り返しのつかない結果を引く」との報告を受けました。「シートベルトをもし着用し

「シートベルトは面倒だ・ほんの近くまでの運転」と思うと心が曇ります。

「自分だけは事故などに遭ったり事故など起こす訳はない」という安易なルール無視の気持ちか、一瞬しかない大切な命を落とす結果を招いていないでしょうか。

貴重な体験談……。この時、私は警察官として、一人の大人として、二十一世紀を担う子供たちのために、交通惨禍のない明るい生活環境を構築すべき、責任を痛感しました。

前回の二三四号で、交通事故関係の相談機関として警察の窓口を中心に紹介しました。今号では、県をはじめ各種団体の「交通事故の相談窓口」について取り上げます。交通事故の発生件数は、

各種機関

②

交通事故を巡るトラブルも年々増加し、なかには法外な損害賠償を求められるケースも目立ちます。交通事故の当事者は、事故の責任の範囲において、刑事上の責任(懲役や罰金等)、行政上の責任(運転免許の取消・停止)さらには、民事上の責任(治療費や慰謝料等)を負わなければならない。本稿では、主に民事上の問題解決について相談機関、相談方法や交通事故を巡るトラブルの事例等を踏まえ、その防止対策を紹介いたします。

困った時はここに相談

自動車台数や運転免許保有者の増加、自動車の使用の多様化などを背景に、ここ数年増加の一途をたどっています。こうした社会情勢を反映して、交

不幸にして交通事故を起こした場合、または交通事故の被害にあった場合は、まず、交通事故の発生等を警察に通報して、現場検証などを受けておくことが必要です。「被害が軽微だから」「警察への通報が面倒だから」「被害者が話し合いで解決しようとお願ひされたから」「保険を使うか

ら」など、当事者のみの話し合いで解決しようとした場合、後になってから「思ったより怪我の程度が重く、被害者と話し合ったがうまく話が進まない」「事件後、しばらくして医師の診断を受けたが、怪我が交通事故によるものかどうか疑問をもたれた」「被害補償の条件が当初と異なりトラブルが生じた」「過失の程度を争う」などの問題が発生しています。

こうした問題に発展させないためにも、現場で当事者同士だけの話し合いに留まることなく、法律の定めるとおり、警察への通報を怠らないようにしましょう。交通事故の場合、事故当時怪我がないと判断

した場合でも、後で怪我が生ずるケースが多く見受けられます。その後、補償を巡るトラブルに発展することが数多くあります。こうしたケースでは、車両の修理を終えてしまったり、また事故現場の写真などもない場合、警察や保険会社の捜査や調査に支障をきたします。その結果、適正な過失の

自動車の損害保険会社に事故の状況を報告しておくことも大切です。交通事故が発生させた場合、速やかに事故の状況、負傷の程度等を保険代理店に通報し、専門家の知識を活用しましょう。交通事故の交渉を進める際に「損害補償については、全て保険会社にまかせてあるから」と言って、一度も見舞いしないなどの不満が数多く寄せられます。加害者側の誠意が感じられないことが、トラブルの要因の一つにもなります。示談の交渉を円滑に進めるためにも、加害者側は誠意をもって対処しましょう。示談の交渉は、事故現場での即断は避け、専門知識のある人に相談するなど双方が納得のうえ、結論をたすことが必要です。

交通事故のトラブルを防止するためにも、交通の当事者は必ず警察へ通報しましょう。軽微な物損事故でも、最悪の場合に備え事故現場や車両の損害の程度などを写真に撮影しておく配慮が必要で、加入している認定もできない場合もあります。

このようなトラブルを防止するためにも、交通の当事者は必ず警察へ通報しましょう。軽微な物損事故でも、最悪の場合に備え事故現場や車両の損害の程度などを写真に撮影しておく配慮が必要で、加入している認定もできない場合もあります。

認定もできない場合もあります。このようなトラブルを防止するためにも、交通の当事者は必ず警察へ通報しましょう。軽微な物損事故でも、最悪の場合に備え事故現場や車両の損害の程度などを写真に撮影しておく配慮が必要で、加入している認定もできない場合もあります。

各種相談窓口

- ◎山梨県県民相談センター
TEL055-223-1366~1369
同センター 南都留駐在
TEL0554-45-7800(内線1055)
- ◎(社)日本損害保険協会
甲府自動車保険請求相談センター
TEL055-228-8335
- ◎(財)日弁連交通事故相談センター
山梨県支部
TEL055-235-7202
- ◎全国共済農業協同組合連合会
山梨県本部交通事故相談所
TEL055-223-3574
- ◎甲府市交通事故相談所
TEL055-237-1161(内線3136)

効果的な運動で意見交換

山梨県安協臨時理事会

(財)山梨県交通安全協会は九月十二日、甲府市内のニュー機山で、堀内光雄会長以下の理事が出席して、臨時理事会を開きました。



理事会では、堀内会長が「今年も半年以上が過ぎ死者数は昨年とほぼ同数であるが、発生件数、負傷者数ともに大幅に増加しており、さらにこれから年末にかけて交通事故も多発する傾向にあります。こうした情勢の下、九月二十一日から九

月三十日まで、秋の全国交通安全運動も実施されますので、各地区の活動

を会長が中心となって総力をあげて取り組んでいただきたい」とあいさつされ、議題に入りました。

会議では、秋の全国交通安全運動の効果的な推進方法について審議し、各地区安協での、新しい活動の取り組み等の意見交換が行われました。県安協では、交通安全活

動として、新聞広告等の啓発宣伝活動、黄色い羽根の配布、ポスター・ビラ等の配布を行うなど、目に見える活動を推進することを、全員で確認しました。

(財)山梨県交通安全協会の各地区安協婦人部長会議が十月十三日、甲府市内のニュー機山で開かれ、秋の全国交通安全運動の活動状況と反省点等が発表されました。

活動は各地区とも計画どおりに実施され、交通

まず警察や保険会社へ通報

高齢化社会は着実に進行し、高齢運転者の数はますます増えていきます。高齢者になっても、目に見えない形で急激な変化が起こるわけではないのですが、いろいろな面で気づかないうちに、心身の老化が進行していることも事実です。以下、高齢者の心身と交通事故防止のポイントを説明します。

高齢化社会は着実に進行し、高齢運転者の数はますます増えていきます。高齢者になっても、目に見えない形で急激な変化が起こるわけではないのですが、いろいろな面で気づかないうちに、心身の老化が進行していることも事実です。以下、高齢者の心身と交通事故防止のポイントを説明します。

高齢化社会は着実に進行し、高齢運転者の数はますます増えていきます。高齢者になっても、目に見えない形で急激な変化が起こるわけではないのですが、いろいろな面で気づかないうちに、心身の老化が進行していることも事実です。以下、高齢者の心身と交通事故防止のポイントを説明します。

高齢化社会は着実に進行し、高齢運転者の数はますます増えていきます。高齢者になっても、目に見えない形で急激な変化が起こるわけではないのですが、いろいろな面で気づかないうちに、心身の老化が進行していることも事実です。以下、高齢者の心身と交通事故防止のポイントを説明します。

高齢化社会は着実に進行し、高齢運転者の数はますます増えていきます。高齢者になっても、目に見えない形で急激な変化が起こるわけではないのですが、いろいろな面で気づかないうちに、心身の老化が進行していることも事実です。以下、高齢者の心身と交通事故防止のポイントを説明します。

高齢者と運転

高齢者の交通事故の相手は若者が最も多いという統計もあります。高齢者や若者の互いの意識のずれ、はつきり言えば若者の方に高齢者に対する思い遣りに欠けるところが修正することが必要で、高齢者も多くが車道で他車との協調を心がけてください。(日本大学医学部教授・谷島一嘉氏の「人と車」通巻五四四号から引用)

シグナル

飲酒運転追放へ「SDD作戦」

飲酒運転追放推進制度を展開していますが、一向に「飲酒」による交通事故や酒酔い運転の違反があとを断ちません。

飲酒運転追放推進制度を展開していますが、一向に「飲酒」による交通事故や酒酔い運転の違反があとを断ちません。

地区代表の17人が熱弁 優勝は白倉亜弓さん

山梨県中学生交通安全弁論大会



中学生が熱弁を振るった交通安全弁論大会

県警察本部と県交通安全協会が主催により、第四十二回山梨県中学生交通安全弁論大会が十月十一日、甲府市内のニュー

受賞者は次の通りです
（敬称略）
「優勝」山梨県知事賞
・優勝旗 白倉亜弓（高根中二年）
「準優勝」▽山梨県議会議長賞 志村真斗（石和二中）▽山梨県教育長賞 中桐未央（櫛形中学校二年）▽県警察本部長賞 浦麻希（西浜中三年）
「優秀賞」小松和彦（大月東中）原田育恵（春日居中）小俣裕子（島田中）三枝朋佳（大和中）白石星（甲府北西中）日向智恵（韮崎東中）高野美緒（中富中）池上拓真（甲府南中）望月美紗子（南都中）小林亜妃（都留第二中）河澄彩子（増穂中）広瀬利彦（甲府東中）篠原将之（下部中）＝出場順

交通安全情報

の推進③毎月十日を「交通安全の日」として交通安全活動を推進④反射材の普及及び活用の促進⑤各種交通安全教室の開催⑥高齢者、子供に対する保護活動の推進⑦広報資料の作成配布及び看板等

交通安全情報を発信

石和交通安協会長 大久保 光雄

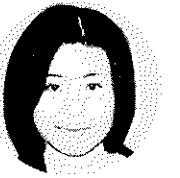


来る二十一世紀を希望を持って展望すると、当協会の役割は地域に安全な生活が確保出来る体制づくりを最優先していかねばならぬと意を新たにしているところであります。
当協会の十二年度の事業は、①チャイルドシート・シートベルトの着用②高齢者交通対策の徹底③高齢者交通対策の徹底④高齢者交通対策の徹底⑤高齢者交通対策の徹底⑥高齢者交通対策の徹底⑦高齢者交通対策の徹底⑧高齢者交通対策の徹底⑨高齢者交通対策の徹底⑩高齢者交通対策の徹底⑪高齢者交通対策の徹底⑫高齢者交通対策の徹底⑬高齢者交通対策の徹底⑭高齢者交通対策の徹底⑮高齢者交通対策の徹底⑯高齢者交通対策の徹底⑰高齢者交通対策の徹底⑱高齢者交通対策の徹底⑲高齢者交通対策の徹底⑳高齢者交通対策の徹底㉑高齢者交通対策の徹底㉒高齢者交通対策の徹底㉓高齢者交通対策の徹底㉔高齢者交通対策の徹底㉕高齢者交通対策の徹底㉖高齢者交通対策の徹底㉗高齢者交通対策の徹底㉘高齢者交通対策の徹底㉙高齢者交通対策の徹底㉚高齢者交通対策の徹底㉛高齢者交通対策の徹底㉜高齢者交通対策の徹底㉝高齢者交通対策の徹底㉞高齢者交通対策の徹底㉟高齢者交通対策の徹底㊱高齢者交通対策の徹底㊲高齢者交通対策の徹底㊳高齢者交通対策の徹底㊴高齢者交通対策の徹底㊵高齢者交通対策の徹底㊶高齢者交通対策の徹底㊷高齢者交通対策の徹底㊸高齢者交通対策の徹底㊹高齢者交通対策の徹底㊺高齢者交通対策の徹底

「この交通事故が起きて以来、人並みの生活を送る事ができませんでした。長男は職を失い、兄弟は青春を失いました。交通規則さえ守ってれば起こらなかった事故です」

「けんじさん」にはなりたくない

高根中学校2年 白倉 亜弓



「はたちのけんじ」というホームページを開いたとき、突然飛び込んできたこの言葉に強い衝撃を受けました。
このホームページは、当時十七歳だったけんじさんが遭遇した事故と、事故後の生活をけんじさんの従弟が克明に記したものです。
一九九四年の冬の出来事です。彼の運転するバイクは、一時停止を怠った上にスピードを上げたワゴン車に衝突されたの

「けんじさん」にはなりたくない
けんじさんは、意識不明の状態が約三年間続き、そのまま、二十歳をむかえました。人生の中でも一番楽しい時代とも言える十七歳以降の青春時代を失ってしまったのです。現在でも、意識は回復し

「けんじさん」にはなりたくない
けんじさんは、意識不明の状態が約三年間続き、そのまま、二十歳をむかえました。人生の中でも一番楽しい時代とも言える十七歳以降の青春時代を失ってしまったのです。現在でも、意識は回復し

「けんじさん」にはなりたくない
けんじさんは、意識不明の状態が約三年間続き、そのまま、二十歳をむかえました。人生の中でも一番楽しい時代とも言える十七歳以降の青春時代を失ってしまったのです。現在でも、意識は回復し

高い無事故率
早く優しい地元のための教習
富士吉田交通安全協会経営
山梨県公安委員会指定
岳麓自動車教習所
富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一・二、大型一・二、大特、けん引
自二（合宿施設有）

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう
損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店
甲府市丸の内二丁目32-13
日東ビル4階
TEL055-228-0691

地区 だより

秋の全国交通安全運動で多彩なイベント 死亡事故 大幅に減少

秋の全国交通安全運動は九月二十一日から三十日までの十日間、①高齢者の交通事故防止のチャイルドシートとシートベルトの着用の徹底②原動機として飲酒運転の絶滅③交差点・カーブの交通事故防止の四点を運動の重点として実施されました。期間中、警察官並びに各地区安協役員・交通ボランティア会員等は広報啓発活動、道路交通環境の点検整備、交通安全教育活動、街頭監視活動、一市町村一交通安全行事に重点を置き実施しました。その結果、期間中の交通事故発生状況は、発生件数百十件(前年比四十九件減)、死者数一人(前年比四人減)、傷者数百四十一人(前年比七十七人減)と、いずれも大幅に減少しました。期間中の各安協の活動の一部を紹介します。



勝沼ぶどうまつりで交通安全指導 (塩山安協)



園児が交通安全呼び掛け (鯉沢安協)



北新警察大学を開校 (甲府安協)



安全標語塔を設置 (都留安協)



保育園で交通安全教室 (南部安協)



街頭で自転車点検 (南甲府安協)



山中湖交番前で街頭指導所 (富士吉田安協)



街頭指導所を開設 (市川安協)



高齢者に反射材貼付を指導 (小笠原安協)



交通安全推進委員がPR活動 (大月安協)



チャイルドシートの講習会 (石和安協)



交通安全パレード (韮崎安協)



シートベルト着用推進フェア (上野原安協)



カーブミラーを清掃 (日下部安協)



郵便局員に技能指導 (長坂安協)

飲酒運転絶滅 旗を掲げ訴え
○…南甲府安協
南甲府署・南甲府交通安全協会(山下謙三会長)は、十月一日から十一月三十日まで実施された「交通死亡事故抑止県民運動」に合わせ、同署の庁舎外に、のぼり旗「きつぱりと 飲んだら乗るな 強い意志」十八本、写真二を掲出し、通行車に対し交通安全を呼び掛けました。
中道町では、秋の全国交通安全運動に伴い「一市町村一交通安全行事」として、県立考古博物館前で、右左口・柏支部役

岸ユキさんと安全パレード
○…韮崎安協
韮崎交通安全協会(山寺嘉一郎会長)は秋の全国交通安全運動の初日に交通安全を啓蒙するため、女優の岸ユキさんを一日警察署長に招き、安協役

子供を守れ!! 街頭PR活動
○…都留安協
都留交通安全協会(三枝時彦会長)は、秋の全国交通安全運動の活動で交通安全パレードを都留署を起点として管内一周



員・警察官・交通ボランティア・NTT・日本航空学園高校ダンス部吹奏楽団と、韮崎警察署から本町通りを通り韮崎市役所まで交通安全パレード写真二を行いました。沿道には

点検・安協の活動

でも地区内の主要道路において同様の街頭指導所を開設して、安全運転の呼び掛けを行いました。昭和町では、運動の活動として高齢者を対象に反射材効果の安全教室を開き、同地区内の住宅地図に「ヒヤリ」とした場所をチェックしてもらい、ひやり地図を作成しました。

このほか、高齢者を対象に路上競技会を行い、危険箇所の確認を行ったり、安全運転コンクール

園児が風船で安全呼び掛け
○…石和安協
石和交通安全協会(大久保光雄会長)は秋の全国交通安全運動期間中に、管内各町村で街頭指導所

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。
★早朝夕方日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島1828
(免許センター内)
TEL(055)285-0752

